

JIS

環境条件の分類－第 2-6 部： 自然環境の条件－地震の振動及び衝撃

JIS C 60721-2-6 : 2024

(IEC 60721-2-6 : 2022)

(JSA)

令和 6 年 9 月 20 日 制定

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電気分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岩本光正	東京工業大学名誉教授
(委員)	加藤有利子	一般財団法人電気安全環境研究所
	下川英男	一般社団法人電気設備学会
	辻勝也	一般社団法人日本電気計測器工業会
	西原敏之	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	馬場旬平	東京大学
	松木隆典	電気事業連合会
	南裕二	東芝エネルギーシステムズ株式会社
	本吉高行	一般社団法人電気学会
	若月壽子	主婦連合会
	綿貫宏樹	一般社団法人日本電機工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 6.9.20
担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 6.9.20
認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti)

審 議 委 員 会：電気分野産業標準作成委員会 (委員長 岩本 光正)
この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 地震の概要	2
4.1 一般事項	2
4.2 地震の発生及び伝ば（播）	2
4.3 地震挙動	2
4.4 基礎上の製品	2
4.5 建物及び構築物の製品	2
5 震度階級	3
5.1 震度及びマグニチュードの定義	3
5.2 震度階級の例	3
5.3 マグニチュードスケールの例	4
6 応答スペクトルによる地震環境の記載	5
6.1 応答スペクトル	5
6.2 地盤応答スペクトル	6
6.3 要求応答スペクトル	6
7 地震活動域の分類	6
附属書 A（参考）地震活動領域の例	11
参考文献	19
解 説	20

まえがき

この規格は、産業標準化法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

環境条件の分類—第 2-6 部：自然環境の条件— 地震の振動及び衝撃

Classification of environmental conditions—Part 2-6: Environmental conditions appearing in nature—Earthquake vibration and shock

序文

この規格は、2022 年に第 2 版として発行された IEC 60721-2-6 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

1 適用範囲

この規格は、地震動と衝撃とに関連して自然界に現れる環境条件について規定する。

その目的は、地震の特性評価のための幾つかの基本的な性質及び強度を、保管及び使用の間に、製品がばく露されやすい厳しさの基礎的情報として定義することである。与えられている加速度は、地表面の状態だけを対象としている。構造に関連する条件に言及しているが、一般の場合の説明に限定している。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 60721-2-6:2022, Classification of environmental conditions—Part 2-6: Environmental conditions appearing in nature—Earthquake vibration and shock (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0153 機械振動・衝撃用語

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 2041, Mechanical vibration, shock and condition monitoring—Vocabulary

JIS C 60068-3-3 環境試験方法—電気・電子—第 3-3 部：支援文書及び指針—機器の耐震試験方法

注記 対応国際規格における引用規格：IEC 60068-3-3:2019, Environmental testing—Part 3-3: Supporting documentation and guidance—Seismic test methods for equipment

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS B 0153 及び JIS C 60068-3-3 による。